



第10回 しまはちセミナー

3連休の最終日となる11月24日、八王子学園の講堂をお借りし、第10回 しまはちセミナー「学校に行きづらい子どもの気持ちに気づいたら～児童精神科医が語る支援のヒント～」を開催しました。

講師には児童精神科医としてご活躍されておられる、愛育クリニックの小平雅基先生に講演のお願いをしました。小平先生からは、ストレスに対する防御力をいかにして高めるか、子どものメンタルヘルスをどう支えていくかといった点について、具体的に分かりやすくお話しいただきました。不登校に限らず、すべての子どもに通じる内容であり、多くの参加者からご好評をいただきました。

当日は100名を超える方にご参加いただき、心より感謝申し上げます。参加者は保護者の方が最も多く、不登校に対する不安や心配が年々高まっている現状を改めて感じました。今後も、多くの方にとって支えにつながるセミナーを開催していきたいと思っております。

【リハビリテーション科 公認心理師 神田 聡】



学会報告

三重県津市にて開催された日本重症心身障害学会にて「頸髄脊髄炎後遺症の男児におけるバクロフェン髄注療法実施後の生活の変化について」という演題名で、症例報告を行いました。初めての口述発表だったのでとても緊張しましたが、多くの方にご助言をいただきながらスライドを作成し、無事に発表を行うことができました。座長の先生と意見交換をさせていただいたり、この治療方法に関するランチョンセミナーに参加することができたりと、新たな学びを多く得ることができました。日々の臨床にこの経験を活かし、子どもたちのためできることは何かを考え、さらに邁進してまいります。

【リハビリテーション科 理学療法士 加藤 真希】

第50回日本重症心身障害学会学術集会で「新型コロナウイルスへの対応を振り返って」をテーマに初めてポスター発表を行いました。多くの方のご助言と協力のおかげで緊張しつつも無事に発表でき、日々の取り組みを整理し客観的に見つめ直す貴重な機会となりました。現地では最新の知識を得るとともに懐かしい先生方とも再会でき、公私ともに大きな収穫がありました。この経験を活かし、日々の臨床や感染対策に、より一層励みたいと思っております。

【リハビリテーション科 作業療法士 松尾 美穂】



「高齢化する家族を支える重層的支援体制整備事業等の活用による重症心身障害者在宅支援の工夫」として、重層的支援体制整備事業を活用し、関係機関と連携して、利用者様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるように整えた事例についてポスターにて発表させていただきました。今回の発表で重層的支援体制について広め、より多くの方が地域で暮らし続けていくことができる一助となればと思います。

【通所科 大谷 聖信】

三重県で開催された学術集会では、重症心身障害者の短期入所受け入れに向け、介護医療院職員32名を対象に実施した講義および見学実習の成果と課題について発表させていただきました。今回の研修後のアンケートより、不安や困難感を強く感じている職員は多くいましたが、多職種の連携や非言語的関わりの重要性を学ぶ機会となり、「実際のケアに参加したい」などの要望もあり、今後は研修の前に重症児者を知ってもらう取り組みや実際のケアを体験できる研修プログラムが必要であると考えました。

【通所科 阿部 恵】



ベトナム研修報告

7月27日～8月3日にかけて、SVCA（ベトナムの子ども達を支援する会）ベトナム交流ツアーが行われました。参加された2名へインタビューをしました。

Q1.どんな活動に参加しましたか？ Q2.印象に残っている出来事は何ですか？
Q3.美味しかった料理はありますか？ Q4.思い出の写真をみてください！

Q1.SVCAの活動では「病院班」「CBR（Community Based Rehabilitation：地域に根ざしたリハビリテーション）班」「教育班」のいずれかに参加します。私は主に病院班に参加し、現地の病院に通われているお子さんのケーススタディを行い、評価・支援方法の検討に参加しました。

Q2.病院班のケーススタディ場面で、現地スタッフが熱心に参加しており、国籍を問わず、目の前のお子さんについて一緒に考える時間を持てたことは、非常に貴重な経験となりました。言語は異なっていますが、気持ちは通じ合い、お子さんと関わることができるということを改めて実感しました。

Q3.ピラニアのスープ

身はやわらかく、脂がのっており美味でした。



Q4.今回の研修では新しい出会いと久しぶりの再会があり、人とのつながりの大切さを改めて感じました。SVCAの活動を長年実施されてきた前事務局長の板東さん（写真左）、15年前にお会いした新事務局の内藤さん、12年前の研修会でお会いした西村さん（写真右）と再会できました。



【リハビリテーション科 理学療法士 黒川 洋明】

Q1.SVCAのツアーを中心にCBRの家庭訪問や障害児学校の見学に参加させていただきました。

Q2.家庭訪問で現地のご家族と話しながら生活の様子を伺う間、ご兄弟と一緒に遊んだことです。ぬいぐるみがお好きなようで日本から持ってきた紙風船も気に入っていただきました。

Q3.現地の料理がどれも美味しく毎日ご馳走が出てきましたが、毎朝食べていたフォーが優しい味わいで飽きずずっと食べられました。



Q4.家庭訪問の休憩時間で撮った写真です。

何気ない道路ひとつも広告や文字の違いから異国にやってきた！という感じがしたのと、ベトナムの空も綺麗なだ～と思った思い出の1枚です。



【通所科 小山 峻介】



しまはち家族野菜プロジェクト

昨年度に引き続き、2025年度もしまはち家族野菜プロジェクトを実施しました。職員のお子さんが作業の中心となり、今回はさといもを育てました。ご協力いただいたのは八王子市川口町にある「心健道場」の皆様です。心健道場では代表の山口さんを中心に、自然に触れながら“素の創造性”を育てる体験機会を提供する活動をされています。「はちおうじ子どもの居場所MAP(2025年)」にも掲載されている場所です。



本企画は植え付け(5月)、成長観察(9月)、収穫(11月)という流れで実施しました。全体を通して計5家族に参加していただきました。子どもたちが目を輝かせて作業に取り組む姿が印象的でした。また他部署の職員・子ども同士の交流が生まれるきっかけにもなっていました。個人の所感ですが、植物を媒介とした活動・他者との交流という点では、園芸療法に通ずる部分もあるのではないかと感じました。今回の活動が子どもたちの成長に良い栄養になれば嬉しく思います。

【リハビリテーション科 作業療法士 松本 恵実】



通 所

新入所歓迎会

年度改まり気持ちも晴れやかな4月、しまはち通所に新しい仲間が加わりました。

2025年度の新入所歓迎会は伊藤愛海さんと関根妙子さんの2名をお迎えすることに。通所メンバーも歓迎のために張り切って準備をしながら当日を迎えました。式典中の緊張した面持ちから、祝いの歌に思わず笑顔がこぼれる様子まで、様々な表情が見られる中、和やかな雰囲気でも新メンバーを迎えることができました。午後の大筆書道ではしまはちの理念である輪を和でつなぐから「和」の字を新入所の方でダイナミックに書いていただきました。少し大きくなった「輪」で2025年度のしまはちがスタートしました。

【通所科 児玉 裕】



花火鑑賞会

7月26日（土）八王子花火大会に合わせ、しまはち通所にて花火鑑賞会を開催しました。午前中には出張販売のイベントを行い、1階外来スペースにたくさんの洋服や小物、お菓子が並びました。利用者様同士でお揃いの物を選んだり、職員と一緒に気になる洋服を探したり、ご家族へのお土産を選んだり、それぞれお買い物を楽しまれました。そのままお天気が崩れることもなく、夜には屋上にて綺麗な花火を鑑賞することができました。皆様の夏の思い出の一つになっていることを願います。

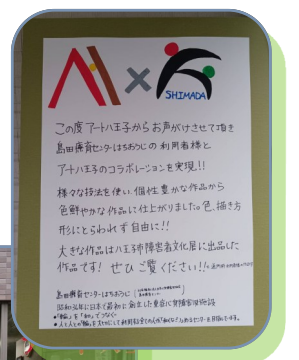
【通所科 板橋 萌】



絵画展示会

11月から年をまたいで1月にかけて、千人町にあります美術教材や画材を扱っておられるアート八王子さんからのお誘いを受けて、お店のスペースを借りて通所利用者様の絵画展示会を行いました。絵画のテーマは特になく、絵具やペン、貼り絵など、さまざまな方法で、それぞれの利用者様が白いダンボールキャンバスに思い思いの絵を描かれました。その作品をアート八王子さんがキレイに並べてくださり、たくさんの方々がお覧になってくださいました。今後も展示会を行っていただければと考えていますのでお楽しみに！

【通所科 一条 昌宏】



医師紹介



こんにちは。2025年の4月から島田療育センターはちおうじに着任して療育外来を担当している西條晴貴です。これまでの小児科、小児神経、行政などの経験をしてきましたので、その経験も活かし、皆さんの生活を少しでも支えられるよう頑張っています。

どうぞよろしくお願ひします。

【西條 晴貴】



こんにちは、2025年4月から療育外来を1回/週で担当させていただきました濱田朋弥です。もともと高知で小児科医をしており、この度小沢浩先生からご縁をいただきしまはちで働かせていただきました。しまはちに来る子どもたちの笑顔のためにできることを一生懸命頑張ります。

【濱田 朋弥】

濱田先生は3月末でご退職となります。
1年間ありがとうございました。

ほ と ひと い き

はじめまして。小児科医の西條です。

実はもともと横浜国立大学の工学部出身で、遠回りの人生はここから始まっています。その後ご縁あって医師になり、子どもたちの診療をする毎日へ。



ところが診察室で「これ、仕組みでもう少し楽にならないかな？」と考え始め、気づけば役所に寄り道、さらに夜は大学院で経営を勉強することに。あちこち回って、今はまた療育の現場に戻ってきました。回り道は多いですが、その分いろんな角度から一緒に考えられます。どうぞ気軽に声をかけてください。



【診療科 西條 晴貴】

おしらせ

information

「輪を和でつなく」
著者：小沢浩
発行所：クリエイツかもがわ
価格：2000円（税別）
発売中です



島田療育センターはちおうじ 小児診療



- ・各種 予防接種を行っています。予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ・発熱など風邪症状のある方は、ご来院前にお電話でお問い合わせください。感染症対策のため、ご協力よろしくお願ひいたします。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

